

新庁舎建設工事にかかる地盤改良工事(丸太打設工事)の見学会について

1 見学会の概要

高知市 総務部 新庁舎建設事務所

開催日時	平成29年4月21日(金) 14時～17時
場所	集合・説明会：高知市新庁舎建設工事作業所会議室(高知電気ビル地下1階) 見学会：新庁舎建設工事現場
主催・協賛等	主催：公益社団法人地盤工学会四国支部高知県地盤工学会 協力：高知市，大成・大旺新洋特定建設工事共同企業体
主な出席者・参加者(人数)	主催者側：地盤工学会会員ほか 約30名 協力者側：高知市：市長，総務部長，新庁舎建設事務所長 ほか 施工者JV，設計JV
概要(目的・内容)	目的：新庁舎で施工する丸太打設液状化対策工事により，木材の地中使用の理解を深める 内容： ・集合(高知電気ビル地下1階) ・開会あいさつ(高知大学 原 忠教授) ・ " (高知市長) ・新庁舎概要説明(高知市)，地盤改良工法説明(日建・上田JV) ・液状化対策工法と施工状況説明(大成・大旺JV) ・施工現場見学 ・閉会あいさつ(高知大学 原 忠教授) ・現地解散
特記事項	

新庁舎建設工事にかかる地盤改良工事(丸太打設工事)の見学会について

2 丸太を使った地盤改良工事について

(1) 新庁舎の基礎構造

- 新庁舎の基礎は「液状化対策」と建物を支持する既成コンクリート杭を併用
- 大地震時に液状化の可能性が高い層について、液状化の程度が軽微となるように、建物直下に液状化対策を行う
- 液状化対策の方法として、**丸太打設液状化対策工法 (LP-LiC工法)**を採用

(2) 丸太打設液状化対策工法 (LP-LiC工法) の概要

- 丸太を緩い砂地盤に地盤改良材として打設することで、地盤の密度増大を図る
- 県産材を積極的に活用することができる
- 丸太に劣化を生じさせることなく、長期間炭素貯蔵を行うことができる
- 施工時に大型重機を用いなくてもよく、振動や騒音が少ない

(3) 高知市新庁舎建設工事における丸太打設工事について

- 設計上での丸太の使用本数は15700本
- 直径約16cm程度の丸太を使用
- 使用する丸太の長さはL=4.0m
- 予想される液状化の程度に応じて、60cm～100cmの間隔で打設（液状化の可能性が高いエリアほど間隔が狭くなる）

